

蕨 工 ニュース

山梨県立蕨崎工業高等学校 広報部
第 1 1 号 2005.05.25

第57回県高校総合体育大会特集

いざ、出陣

県高校総合体育大会を前に出場する選手の壮行会が行われた。校長より激励の言葉を聞き出場する選手からは各会場での大会を前に気合いを感じた。昨年より良い結果が出ることを期待させる壮行会だった。



野球部選手の力強い行進

今年は野球部員が総勢27名と近年になく大勢となったので、総体で初めて野球部員だけで入場行進を行った。

日頃の練習でつちかったチームワークで堂々とした行進をすることが出来た。野球部もこれから夏の大会に向けて、合宿や練習試合に気合いが入るに違いありません。



得点を取得したバレーボール部

バレーボール部は、1回戦の山梨高校戦、2回戦の白根高校戦を共にストレートで勝ち抜き、準々決勝に進んだ。準々決勝の日川高校戦では健闘したが惜しくも敗れてしまったものの堂々の7位という成績を収めた。これも休日を返上した毎日の厳しい練習の成果が表れたのだといえる。

次の大会は6月25・26日で行われるインターハイ予選だが、ベスト4入りを果たしてくれることを期待したい。

ハンドボール部は甲府西高校と対戦。日頃の練習の成果を発揮したものの惜しくも1回戦で涙をのんだ。弓道部は上位進出をかけて独特の緊張感の中、的を射抜いたが決勝トーナメント進出はならなかった。



ソフトテニス部は桂高校と対戦。結果は破れたがシード校相手によく健闘した。

本校写真部員も3日間小瀬スポーツ公園を中心に各会場で競技中の選手の表情などをカメラに納めた。

撮影した写真は6月の中旬に行われる春季競写会に出品する。

この競写会までは毎晩現像やプリント作業が続くが、団体優勝目指して頑張ってもらいたい。結果は後日報告いたします。



撮影した写真は高写連の競写会や県民文化祭に出品する。同校写真部の黒沢恵太さん(2年)は「スポーツの写真は瞬間の動きがおもしろい。その動きをうまくとらえて、上位入選を目標したい」とシャッターを切っていた。

写真部員も真剣
 ○：高校総体は写真部員や放送部員にとっても日ごろの成果を披露する絶好の機会。各校の写真部員は小瀬、緑が丘スポーツ公園などの各会場で勝負に挑む選手たちのベストショットを収めようと、真剣な表情でカメラを構えていた。写真部員は緑が丘体育館の卓球場で写真を撮っていた。この日は(2年)は「試合中の選手の真剣な表情はもちろんだが、試合後の喜びの表情なども撮るよう心掛けている。写真は現像するときのワクワク感が醍醐味(だいごみ)」と話していた。

[資料提供:山梨日日新聞]



関東大会出場を決めたレスリング部

レスリング部は団体戦で昨年に引き続き優勝し、3年連続のインターハイ出場権を獲得した。個人戦では5名が優勝し、インターハイの出場権を獲得。関東大会へはフリースタイルに3名、グレコローマンスタイルに6名が出場することとなった。関東には全国チャンピオンが他数いるので激戦だが、本校生徒にも優勝のチャンスは十分あるので、活躍を期待したい。

U R L <http://www.kai.ed.jp/niraith/>
 e-mail info@nirasakith.kai.ed.jp